



道徳だより

2025.10.29 号
みよし市立緑丘小学校



6年生「自由行動」(内容項目 A 善悪の判断、自律、自由と責任)

ねらい

自由とは、周りや自らのわがままな心に惑わされず、自分の意志でしっかり考え判断し、行動することであり、難しいがやりがいがあることを理解し、自由を生かすための判断力を育てることをねらいとして授業を進めました。

授業の様子

めあてを「みんなが満足する自由とはどんな自由かな」として授業を始めました。六年生全員がホールに入り、隣に保護者が座って親子で意見交流しながら子どもが発表する流れで授業を進めました。ちょうど月末から修学旅行で実際にグループに分かれ見学する時間があることが分かっていたので、実生活を重ね合わせながら真剣に考えることができました。教材を確認していくつかの場面で話し合いました。



教材の概要

マサキさんのクラスでは社会見学のグループ活動の打ち合わせが始まろうとしていました。歴史博物館での自由行動の二時間をどのように過ごすか話し合います。最高学年の六年生として自分たちでどこまで考えて行動できるのか、グループで話し合って「自由行動計画表」を作ることになりました。男の子と女の子で行きたいところが違い、なかなかまとまりません。「集合時間と場所を決めてそれぞれ自由に見学すればよいのでは」という意見にマサキは「それでは、グループ活動として自由をうまく使ったことにならない。自分たちの役に立つ自由行動にしよう」と伝え、時間をかけて計画表を完成させました。当日は天気もよく楽しく二時間を使って集合場所に集まりました。みんなと楽しく参加しながら、「自由って難しいけど、うまく使えば楽しいし、役に立つものになることが分かった」と考えていました。

「男女が別々に見学したら」という他の四人の意見に対して「**本当の自由ではないのでは」「楽しい時間ではなくなるのでは」「男女で分かれても、行きたいところについて言い合いになってしまうかもしれない」という意見が出されました。次に「自分たちの役に立つ自由行動にしよう」というマサキの提案を聞いて「好きなことを合わせることも大切」「観光よりも学習に重点を置くことが必要」「待つことを学ぶよい機会」「班行動について学ぶことも大事」などいろいろな面からの意見が出されました。それぞれが控えている修学旅行をイメージして発言していることがよく分かりました。自由は自分勝手ではないこと、何でもできるものではなく、自由だからこそ責任が伴い、難しいものであることが理解できた大切な時間となりました。実際の修学旅行では、時間を守り仲良く見学できたことを付け加えておきます。**

以下に参観された保護者の方々の感想を一部掲載させていただきます。

○修学旅行前に、自由行動とは何か、自由とは何か、みんなが満足いく自由行動とはどんなものか、話合わせるのはすごくよいと思いました。今日のことを踏まえて、みんなが楽しく学べる修学旅行にしてほしいなと思います。一年生の参観を見たあとだったので、成長したなあとしみじみしました。

○修学旅行の自由行動に活かせる授業だったと思います。「自由」とは好き勝手できることではなく、しっかりと準備をした上で目的をもって行動する事であることを理解し、今後の活動に活かしてほしいなと思いました。

○修学旅行前に自由行動について考えられるのはよかったと思います。自分の意見だけでもだめだし、他人の意見に流されてもいけない、何をすべきか考えて、周りの理解を得られるような提案ができるようになってくれるといいかなと思います。

○ちょうど修学旅行に際し、集団行動の難しさを感じているところでもあったと思うので、とてもよいタイミングで考える時間になったと思いました。自由行動とはいえ、自分の思うようにいかないことも集団ではありますが、振り返れば貴重な経験になると思うので、何事も考え方次第、前向きに楽しんでほしいなと思いました。